

第六十四回
帝國議會
貴族院

船舶安全法案特別委員會議事速記録第二號

昭和八年三月四日(土曜日)午前十時十五分開會

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 是ヨリ委員

會ヲ開會イタシマス、船舶安全法案ニ限リマシテ大體ニ付テ……大臣ノ御出席ガアリマシタカラ、此際御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス

○公爵二條實孝君 私ハ衆議院ノ方ノ此委

員會ノ速記ヲ一通リ拜見イタシタノデアリマスルガ、船舶安全法案ノ第十三條ガ相當ニ論議セラレタヤウニ思ヒマス、私ノ意見ハ意見トシテ後ニ申上ゲルコトニ致シマシテ、ドウシテモ斯ウ云フ條項ハ一體當局デ御入レニナラナケレバナラスト云フノデアリマスカ、其邊ノモット詳シイ御説明ガ願ヘレバ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(南弘君) 詳シイコトハ政府委

員カラ御説明申上ゲマスガ、船舶ノ安全ヲ期スル上ニ於キマシテ萬全ヲ期シタイト考ヘ、各國ノ立法例ヲ參酌イタシマシテ、斯ノ如ク規定ヲ置クコトガ必要デアルト考ヘタノデアリマス、併ナガラ一面ニ於テ此條項カラ船舶ノ運航上ニ於テ支障ヲ來スヤウナコトガアツテハ相成ラスト存ジマシテ、之

ガ實際ノ運用ニ付キマシテハ十分ノ注意ヲ致シマシテ、サウシテソレ等ノ弊害ノナイヤウニ此條文ヲ設ケテ趣旨ニ眞ニ適應スルヤウニ運用シテ行キタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、尙ホ詳細ノコトハ政府委員ノ方カラ御説明申上ゲマス

○政府委員(淺野平二君) 大臣ノ御説明ニ

補足イタシマシテ御答ヘ申上ゲタイト思ヒマス、十三條ノ規定ハ全ク我國ト致シマシテハ新シイ規定デゴザイマシテ、現行關係法令ニ於キマシテ其例ヲ見ナイノデゴザイマスルガ、各主要海運國ニ於キマシテ斯カル立法例ガ既ニ前カラゴザイマス、時勢ノ進運ヲモ考慮イタシマシテ、此規定ヲ置イタ次第デゴザイマス、普通船舶ハ無論検査モ致シマスルシ、検査ヲ致シマシタ後ニ於テ缺陷ガ出來マスレバ修繕モ致シマスルシ、其航海ニ堪ヘルヤウナ状態ヲ繼續スルコトガ普通ノ狀態デゴザイマスルガ、往々貨物ヲ過載イタシマスルトカ、或ハ相當破損ヲ致シマシテ航海ガ危險デゴザイマスニモ拘リマセズ強ヒテ航行ヲ強行スルト云フヤウナ場合ガ稀ニアルノデゴザイマス、是等ノ關係ニ於キマシテ安全辦ヲ此處ニ置ク必

要ガアラウト考ヘマシテ此規定ヲ設ケタ次第デゴザイマス、此規定ノ趣旨ニ付キマシテハ大體御了解ヲ戴ケルコトダト存ジマスガ、唯之ヲ濫用イタシマシテ、是ガ惡用サレマシテ、船員ガ船内ノ統制ヲ紊リマスルトカ、或ハ勞資ノ兩階級ノ間ニ鬭争ヲ刺激スルト云フヤウナコトガゴザイマシテハ、此海運ノ發展カラ申シマシテモ誠ニ憂慮スベキコトニモナルノデゴザイマスノデ、濫用ヲドウシテモ防止スルヤウナ適切ナ方法ヲ執リタイト云フコトニ致シテ居ル次第デア

リマス、此法文ヲ置キマスルニ付キマシテハ、遞信省ニ於キマシテ從來調査ヲ進メテ參リマシタノデゴザイマシテ、臨時法令調査會ト云フヤウナモノヲ設ケマシテ嚴重ニ船主ナリ、海員ナリ、造船業者、關係官廳ノ代表者ニモ寄ッテ戴キマシテ、又其後此法案ヲ立案イタシマス前ニ於キマシテモ同様ナ會合ヲ開キマシテ、色々協議イタシマシテ大體斯ウ云フ風ナ規定ヲ置ク方ガ宜シカラウト云フヤウニ御意見ノ一致ヲ見タヤウナ次第デゴザイマス、今申上ゲマシ

テ、今ノトコロ腹案ト致シマシテ考ヘテ居リマスル點ハ、緊急已ムヲ得ナイ場合ノ外ハ船舶ノ發航直前ニ於キマシテ此申立ヲ認メナイト云フコトデゴザイマス、次ニハ不服申立ヲ致シマスニ付キマシテハ管海官廳宛ノ書面ヲ船長ニ提出イタシマシテ、船長ガ之ニ意見書ヲ添附イタシマシテ管海官廳ニ提出セシメルト云フコトデゴザイマス、次ニ此不服申立ガゴザイマスレバイツデモ當然航行停止ヲ伴フト云フ趣旨デハゴザイマセヌノデ、申立事項ノ輕重ニ依リマシテ、輕微ナル事項ニ付キマシテハ調査ニ依ッテ判定スルコトモ出來ルデゴザイマセウガ、重大ナル事項ト認メマシテ且ツ實地ノ調査ノ必要ガアルト認メラレル場合ニ於キマシテハ實地調査ヲ致スコトニナルノデゴザイマスルガ、其際ハ必要ニ應ジテ或ハ航行停止ノ處分ヲ爲ス場合ガアリ得ルノデアリマス、次ニ此船員ノ申立ニ基キマシテ、管海官廳ニ於キマシテ調査ヲ致シマシテ相當ノ必要ナル處分ヲ致スノデゴザイマスガ、現在ノ所ニ於キマシテハ本法施行地内ノ管海官廳所在地ニ限ル考デゴザイマス、

臨檢イタシマスノハ管海官廳所在地ニ限ル考デゴザイマス、尤モ手續ニ付キマシテハ

管海官廳ノ所在地ニ限定スル考ハナイノデ
ゴザイマスケレドモ、豫メ書面ノ提出ヲ何
處カラデモ出スヤウニ認ムルノデゴザイマ
スルケレドモ、管海官廳所在地ニ入港イタ
シマシタ際ニ於キマシテ、管海官廳ガ是等
ノ調査ヲ致スト云フコトニ致シタイト考ヘ
テ居ル次第ゴザイマス、尙ホ此濫用ヲ取
締ル爲ニ罰則規定ガゴザイマシテ、二十二
條デゴザイマスルガ、乗組員ガ虚偽ノ申立
ヲ致シマシテ、管海官廳ヲシテ調査ヲセシ
メマシタ時ニハ五百圓以下ノ罰金ニ處スト
云フ規定ガゴザイマスルノデ、是等ノ處罰
規定ナリ、手續規定ニ依リマシテ此濫用ヲ
極力防止イタシタイト考ヘテ居ル次第ゴ
ザイマス

○公爵一條實孝君 大臣ノ御説明竝ニ管船
局長ノ御説明デ了承イタシマシタ、私ハ少
シ此機會ニ自分ノ意見ヲ附加ヘテモウ一應
伺ッテ見タイト思フノデアリマス、私ハ御承
知ノ通り、多年海軍ニ籍ヲ持ッテ居リマシ
テ相當海上ノ勤務モ致シタモノデアリマス、
一體商船ト軍艦トハ餘程ソレハ乗組其他ニ
於テモ違ヒガアリ、或ハ機密上ノコトニ付
テモ違ヒガアルカモ知レマセヌガ、軍艦ニ
於テノ艦長ノ命令、艇長ノ命令ト云フモノ
ハ是ハモウ絶對ノモノデアル、又信頼モ絶

對ノモノデアル下私ハ信スルノデアリマス、
此普通ノ船乗ニ於キマシテモ矢張り私ハサ
ウデアアルベキモノダト思ヒマス、船長ヲ信用
セズ、或ハ船長ガ部下ノ身命ヲ保護セズト云
フヤウナコトハ私ハ殆ドアリ得ナイ推測ノ
ヤウニ思ハレルノデアリマス、茲デ甚ダ私
ガ海軍ノ恥辱ヲ申上ゲテモヲカシウゴザイ
マスガ、最早無キ船ノコトデアリマスルカ
ラ私ハ申上ゲマスガ、曾テ私が乗ッテ居
リマシタ軍艦ニ薩摩ト云フ戰艦艦ガアリマ
シタ、是ノ所謂官部屋ト云フモノガアリマ
シテ、空氣ハ通ヒマスガ、光線ノ通ハナイ
炭酸定量ノ非常ニ多イ部屋カアッタノデア
リマス、其處ニ寢ルノハ確カ「エンヂニア」ガ
寢ルノデアリマシタガ随分一時文句ガ起ッ
タノデアリマス、是ハ私共ガ實際ニ乗ッテ
居ッタ船ノ狀況デアリマスルガ、ソレガ爲
デアリマスカ、其他ニ又色ミナ惡イコトガ
アッタノデアリマスルカ、此處ハチョット速
記ヲ止メテ戴キタイノデスガ……

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 速記ヲ止メ
テ……
(速記中止)

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 速記ヲ始メ
テ……

○公爵一條實孝君 兎モ角薩摩ト云フ船ニ

乗ルコトガ居住ノ關係デアアルカ、其他ノ
關係デアアルカ存ジマセヌガ、非常ニ一時嫌
ハレタ時代ガアリマス、其時分ニ私ハ偶然
ニ薩摩ニ轉勤致シタノデアリマスガ、随分
立派ナ方ガ御計畫ニナッテ、又戰術上ノ必
要ニ應ジテ随分無理ナ積載モ爲サルヤウ
ナコトモ私ハ有リ得ルコト思フノデアリ
マス、軍艦デハサウ云フコトナドヲ一切
合切部下ガ艦長ニ何ヲ申スト云フヤウナコ
トモナイノデゴザイマス、随分石炭ナドモ
警備任務ニ依ッテハ「ロード・ウオーター・ラ
イン」ト迄ハ行カナクトモ、可ナリ澤山ニ、
マア極端ナコトハアリマスマイガ、随分居
住ノ不安ヲ與ヘルヤウナコト迄ヤルヤウナ
場合ガ幾ラモ有リ得ルト思フノデアリマ
ス、普通ノ商船ノ方デ行キマスト云フト、
今度ハソレガ慾ノ方ニ絡マリ、或ハ營業上
ノ方ニ絡マッテ、随分滿載吃水線ヲ過ギルマ
デ積ムト云フヤウナコトガアリマセウケレ
ドモ、其判定ハ所謂船長ガ決メルベキモノ
デアアル、ソレガ爲ニ船舶ノ滿載吃水線ト云
フモノガ出來テ居リマシテ、ソシナコトハ
サセナイ、是ハ艦長ガ嚴重ニ御監督ニナレ
バ出來ルコトデアアル、又船長ト云フ責任ヲ
持ッタ人ガ考ヘレバ出來ルコトデアアル、居住
ノ不足ト云フヤウナコトニナリマスト、是

ハ程度ガアルノデアリマシテ、衛生設備ガ
今ノヤウニ炭酸定量ガ多イトカ、或ハ斯ン
ナ光線ノ入ラヌ部屋ニ居ルト自分ノ生命ニ
影響スルト云フヤウナコトヲ言ヒ出セバ、
ソレハ切りノナイモノデアリマシテ、此十
三條ノ該船舶ノ堪航性ト云フ問題ニ付テハ
是ハ絶對的ノモノデアッテ、是ハ苟モ船長位
ノ立場ノ人デアレバ分ラヌ筈ハナイノデア
リマス、居住設備、衛生設備ト云フヤウナ
コトニナリマスト云フト、先程モ例ヲ舉ゲ
マシタヤウニ、随分ト文句ヲ言ヒ得ル餘地
ガアルノデアリマス、是ハ經營ヲシテ行ク
人ノ懷ロ勘定其他モゴザイマセウカラ、斯
ウ云フコトヲ一體部下ニ言ハセルト云フコ
トヲ官廳ガ御獎勵ニナルト云フ……殊ニ今
日ノ日本ノ世相ト云フモノハドウカト云フ
ト、私ハ一言ニシテ敢テ申シマスガ、下剋
上ト云フ趨勢ガ非常ニ現ハレテ居ル、失禮
ナガラ大臣初メ御役人ガモット腹ヲ締
メテ御ヤリ下サラナイト云フト、隨分私ハ
地方長官ナシカノ狀態ヲ見ルト、見ルニ堪
ヘナイ不甲斐ナサヲ私共ガ見受ケル場合ガ
アル、甚ダ失禮ナ申分デアリマスルガ、モ
ウ少シ御奉公ト云フコトニ於テ強キ力ヲ御
發揮ニナラナケレバナラスト云フ、是ハ一
般的ニ私ハ失禮デスガ觀察ヲ持ッテ居ル、其

ノ不足ト云フヤウナコトニナリマスト、是

心持カラシテ此法案ヲ拜見致シマス、如何ニモ此十三條ト云フモノハ私ハ無意味デアル、無意味デアルノミナラズ、先程管船局長カラ縷々御説明ノアリマシタヤウニ、惡用サレル虞レガアル、而モ是ガ絕對ニナケレバナラヌカト云フト、監督官廳ガ相當ニ力ヲ御用ニナナルナリ、或ハ會社側トシテ船長ニ相當ナ人選ヲ爲サレバ、斯ナ問題ハ起ラズシテ行ケルデハナイカ、從テ後ノ罰則規定ノ先程伺ヒマシタ二十二條、斯ナモノモ要ラナイデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘルノデアリマスガ、ドウシテモ是ガ絕對必要ナリト斯ウ云フコトデアリマスガ、モウ一應甚ダ愚鈍ナ御尋ノヤウデアリマスガ、御尋ヲ致シタイト思ヒマス

○國務大臣(南弘君) 只今一條公爵ノ御述

ベニナツタ御意見ハ如何ニモ御尤モデ、我ミモ世ノ中ハサウ云フ風ニアツテ欲シイモノデアルト斯ウ考ヘテ居ル、其點ハ全ク御同感デアリマスルガ、世ノ中ノ時勢ノ進運ニ伴ヒマシテ從來ノ觀念ヲ以テ勞働者ニ對スルコトハ事實許サナクナル、雇主ト勞働者トノ關係ハ法律上カラ見レバ純然タル雇傭契約デアルカラ是ハ議論ノ無イコトデアリマス、彼此レ言フ者ハ直グ雇傭契約デチヤント條件モアルノデアルカラ解雇スル、是

ハモウ單純ナ問題デ、法律上カラ見レバ問題ガアリマセヌガ、近世ニ於ケル勞働運動ノ段々進展ニ伴ウテ、此問題ハ單ニ法律上ノ雇傭契約デアルト云フ單純ナル法律論デハ解決ガ出來ナクナッテ居ル、各國何レモ勞働組合法、サウシテ勞働團體ノ或ル雇主ニ對シテノ主張スルナニ認メテ來テ居ル、我國ニ於テモ勞働保護ノ組合モ認メテ居ル、事實上ニ於テ各所ニ勞働爭議トカ云フモノモ起ル、サウシテ是等ヲ統制シテ行ク途トシテ勞働組合、サウシテ彼等ノ團體的ノ存在ヲ認ムルト云フコトニナツタカラ、單純ナル雇傭契約デアッテ、サウシテ雇主ノ自由ニナニスルト云フヤウナコトニ立行カナイヤウナ今日ハ情勢ナノデアリマス、從テ彼等ニモ或ル相當ノ主張ヲ認メテヤラナケレバナラス、此船舶法ノ十三條ノ方ハ先ヅ其點ヨリハ寧ロ船舶ノ安全、人命ノ安全ト云フ點カラ萬全ヲ期シタイ、先程公爵ノ御述ベニナルヤウニ動モスレバ餘計積ムヤウナ傾ニナリ易イト云フコトガアル、又多少ノ危険ガアッテモソレヲ航海ニ使用スルト云フヤウナコトモ人情トシテハ有リ得ルヤウナモノデアアル、ソレ等ヤウナ場合ニ對シテ此乗組員ニ對シテ一定ノ條件ノ下ニ申立ヲ認メルト云フコトハ、船舶ノ安全ヲ期スル上ニ於テ適當

デアアル、併ナガラ公爵ノ述ベラレル通りニ非常ニ濫用ニ是ガ陷ッテハ、船舶運航上ニ非常ナ何ニナリマスカラ、ソレ等ノ點ニ付テハ十分ナル取締ヲ爲シ、嚴重ナル制限ノ下ニ彼等ノ其主張ヲ認メル、サウシテ實際ニ何等ノ弊害ナク、サウシテ船舶ノ安全ニ付テ萬全ヲ期シタイ、此意味ニ於テ十三條ヲ設ケタノデアリマス、又各國モ何レモ此十三條ヨリモ、モソツト寛大ナル條件ノ下ニ何レモ認メテ居ル、我國モ今ヤ世界ノ海運國トシテ、主要ナル地位ヲ占メテ居ル海運國トシテ是等ノ先進國ノ立法例ニモ恥カシカラヌヤウナ立法ヲシタイ、又實際ニ於テ船舶ノ安全ヲ期スル上ニ於テ、斯ノ如キ規定ヲ設ケタラ適當デアアル、唯御説ノ通り是ノ弊害ハ全力ヲ盡シテソレ等ノ濫用セラレヌダケノ十分ナル用意ヲ致シテ置ケバ、此規定ガアルト云フコトハ實際ニ於テ少シモ差支ナイ、斯様ニ考ヘテ設ケタヤウナ次第デアリマス、尙ホ細カイコトニ付テ管船局長カラ御答イタシマス

○政府委員(淺野平二君) 一條公爵ノ御意

見御尤モニ存ズルノデゴザイマスガ、居住ナリ衛生設備ニ付キマシテ、海員ガ或ハ非常ナ不當ヲ要求デモ場合ニ依ッテハスルヤウナ虞レガナイカト云フヤウナ御趣意ノヤ

ウニ伺ヒマシタガ、居住設備、衛生設備ト斯ウゴザイマスノデ、如何ニモ廣ク規定サレテ居ルヤウニ御考ヘニナルノハ一應御尤モニ存ズルノデゴザイマスガ、是等ノコトニ付キマシテハ法令ヲ以チマシテ規格ナリ、標準ナリヲ明カニ決メル積リデゴザイマシテ、本條ニ於キマシテ不服申立ヲ認メマスル事項モ此規定ニ依リマシテ、何等カ其規格ナリ、又ハ標準ヲ定メラレタモノニ限定スル考デゴザイマス、尤モ是等ノ事項ニ付キマシテ法令ノ規定イタシマスル規格ナリ、標準ナリニ合致スルカドウカト云フコトニ付キマシテハ検査ヲ執行イタスノデゴザイマスガ、検査ニ合格イタシマシタ時ニハ、其検査ニ合格イタシタト同ジ狀態ニゴザイマスルナラバ、缺陷ハアリ得ナイ譯デゴザイマス、其狀態ニ變更ガアリ、而モ重大ナル缺陷ガアル場合ニ限りマシテ、之ヲ認ムルノデゴザイマシテ、唯漠然ト待遇ガ惡イカラ良クシテ吳レト云フヤウナ積極的ニ要求ヲスルト云フヤウナコトハ認ムル趣旨デハナイノデゴザイマス

○子爵松平保男君 私ハ此法案ニ付キマシ

チハ誠ニ是ハ時宜ニ適シタル法案ト全體ヲ通ジテ考ヘルノデアリマスルガ、此中二三伺ヒタイコトガアルノデゴザイマス、此十

八條デアリマスルガ、此十八條ノ處罰ノ罰金ト云フヤウナコトニ付テ規定ヲ設ケラレテアリマスガ、之ニ一項カラ九項ニ互テ場合ヲ示サレテ居リマスガ、是等ノ責任者ヲ決メル上ニ於テ色々ノ場合ガ起リハシナイカト云フコトヲ思フノデアリマス、即チ此責任ヲ受ケル者ガ此條項ニ依リマスルト船舶所有者及船長ト云フコトニナッテ居リマスルガ、是ハ船長ガ其處分ヲ受ケル場合モアリマセウシ、或ハ船舶所有者ガ受ケル場合モアリマセウシ、或ハ又此兩者ガ之ヲ受ケルト云フヤウナ場合モ起リハシナイカト思フノデアリマス、ソレカラ又此罰金トシテ決メラレテ居ル百圓以上二千圓以下ト云フコトモ或ハ是ハ兩者ガ分擔ヲスルト云フヤウナコト、即チ今申上ゲマシタ兩者ガ同時ニ受ケルト、斯ウ云フ場合ニソレ等ノ範圍ヲ決メル必要ガ色々ノ場合ニ起ッテ來ハシナイカト思フ、サウ云フコトニ付キマシテ此處ニハ其細イコト迄モナイヤウデアリマスルガ、是ハドウ云フ風ニ其場合ニミニ依ッテソレヲ判斷スル、ソレハ何處デソレヲ御決メニナルノデアリマセウカ、ソレカラ又モウ一ツハ此船長及船舶所有者ガ、例ヘバ第三項目ニアリマシヤウナ制限汽壓ヲ超エテ汽罐ヲ使用シタルト云フヤウナ場合

ニハ矢張り是ハ船長ガ全部受ケルノデアリマセウカ、其汽罐ノ方ニ關スルコトデアルト機關長アタリ迄ハ斯ウ云フ責任ハ持ッテ行カナイモノデアリマセウカ、其邊ノ所ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(淺野平二君) 松平子爵ノ御質問ニ對シテ御答ヘ申上ゲマス、十八條ノ規定ハ船舶所有者又ハ船長ガ此各號ニ該當イタシマシタ違反行爲ヲ致シマシタ時ニ於キマシテハ其所有者及船長雙方共ニ罰スル趣旨デゴザイマス、船長ガ致シマシタ場合ニハ船舶所有者ハ命令シナイデモ、何等犯意ガゴザイマセヌデモ所有者モ罰スルト云フ趣旨デゴザイマスルノデ、是ハ現行法ハ御承知ノ通り船長ノミヲ所罰スルコトニナッテ居ルノデゴザイマスルガ、種々ノ事情ニ依リマシテ、船長ガ船舶所有者カラ斯カル種類ノ行爲ヲ爲スコトヲ強要サレルヤウナ場合ガ實際多イノデゴザイマシテ、船長ガヤリタクナクテモ所有者ガヤレト言フカラソレヲ聽カナケレバ或ハ解雇サレルヤウナ結果ニモナリマスルシ、實際利益ノ歸屬スルモノハ船主デゴザイマスルノデ、船舶所有者モ共ニ罰シナケレバ取締ノ完全ヲ期シ難イト云フ意味カラサウ云フ風ノコトニ規定イタシテ居ルノデゴザイマスルガ、今申

上ゲマシヤウニ雙方共ニ同一ノ所罰ヲ受ケル譯デゴザイマス、罰金ハ船舶所有者及船長ヲ百圓以上二千圓以下ノ罰金ニ處スルトゴザイマスルカラ、所有者モ船長モ同一ノ罰金ヲ受ケル譯デゴザイマス、併シ裁判所ノ審議……裁判所ガドウセ判決ヲスル譯デゴザイマスルガ、諸般ノ情狀ヲ考慮イタシマシテ雙方ニ處罰ノ差等ヲ付ケル場合ハ無論アリ得ルダラウト考ヘマス、尙ホ此規定ハ今申上ゲマシヤウニ船長ナリ所有者ヲ罰スルノデゴザイマシテ、大體此各號ニ列舉シタ事項ハ船長ガ命令シナケレバ行ハレヌノデゴザイマスルガ、今御例示ニナリマシタ三號ノ「制限汽壓ヲ超エテ汽罐ヲ使用シタルトキ」此條項ノ如キハ或ハ船長ニ諮リマセヌデ、機關長ガ專斷ニヤル場合ガアリ得ルダラウト想像イタシマス、其場合ハ、船長ノ命令ガナケレバ、船長ハ罰セナイ趣旨デゴザイマス、機關長ニ對シマシテハ、此條項デハ罰シナイノデゴザイマスルガ、海員懲戒法等ニ依リマシテ、行政上ノ處分ヲ受ケルコトニナルダラウト思フノデゴザイマス、其他或ハ船員ガ船長ノ命ヲ受ケマセヌデ、是等ノ條項ニ違背シタコトガゴザイマシテモ、ソレハ本條ニ該當イタシマセヌノデゴザイマス、御承知ノ通り船長ハ、

船内ニ於テハ船員法上強力ナ規律ヲ爲ス規律權ヲ有ッテ居ルノデアリマシテ、船内ノ統制ハ船長ガソレ等ノ條項ニ依ッテ取締ッテ行クコトガ出來ルダラウト考ヘテ居ルノデアリマス

○子爵松平保男君 只今ノ御答デ此船主モ船長モ同時ニ罰ヲ受ケル、是ハ或ハ私伺ヒ違ヒデアルカモ知レマセヌガ、何時デモサウ云フヤウナ場合ト仰シヤル譯デハナイノデゴザイマセウ、例ヘバ此航行區域ヲ越エテ船ガ航行シタト云フヤウナ場合ハ、是ハ船主ハ一ツモ知ラナイデ、矢張り航行區域ヲ步クト云フ積リデアルノニ拘ハラズ、船長ガ何カ自分ノ考デ航行區域外ニ出タト云フ場合ハ、船主ニハ何等責任ハ掛カラナイト思ヒマスガ、斯ウ云フ場合ニモ矢張り船主ガ罰ヲ受ケルノデアリマスカ

○政府委員(淺野平二君) 船長ガ航行區域ヲ知ラナイデ越エタト云フ場合ガアリ得ルノデアリマス、是ハ犯意ガゴザイマセヌカラ處罰ヲスル限リデナイト思ヒマス、意識イタシマシテ、是ハ航行區域ハ何處々々迄デアルト云フコトヲ、ハッキリ知ッテ居リマスニ拘ハラズ、其區域ヲ越エテ航行イタシタヤウナ場合ハ之ニ該當スルコトニナリマスルガ、其場合ハ船長モ所有者モ共ニ罰セ

ラレルコトニナルノデアリマス

○子爵松平保男君 今ノ罰金制度ノ百圓以上二千圓以下ト云フノハ、是ハ例ヘバ船長ト船主ガ受ケル場合、其最大限ト最小限ノ罰金ハ是ハ別々ニ掛カル譯デゴザイマスカ、或ハ之ヲ兩方合セテ百圓以上二千圓以下ト云フコトニナルノデアリマスカ、船長モ百圓以上二千圓以下ノ罰金ヲ受ケ、船主モ亦別ニ百圓以上二千圓以下ノ罰金ヲ受ケル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

○政府委員(淺野平二君) 全ク御意見ノ通りデゴザイマシテ、別々ニ受ケルコトニナルノデアリマス

○子爵松平保男君 モウ一ツ別ノ條項ニ付テ伺ヒマス、此衆議院ノ豫算委員會ノ時ノ速記録ヲ拜見シマス、其席ニ於テモ問題ニナッテ居タヤウデアリマスガ、此發動機船ノコトニ付テドウモ私疑ヲ持ッテ居ルノデアリマス、此條項デ決メラレテアリマサル汽船、ソレカラ帆船ト斯ウ云フコトニ依ッテ、此總デノコトガ立前ニナッテ、此法案ガ決メラレテアルヤウデアリマスガ、今日此發動機船ガ非常ニ澤山アリマシテ、サウシテ又相當大キイモノモアルノデアリマス、其發動機船ノコトニ付テ色々御尋ガアタ場合ニ、政府委員ノ御答辯トシテハ、發

動機ヲ持ッテ居ルモノハ實際ニ於テ帆船併

有スル、ダカラシテ是ハ帆船デ以テ適用シテヤレバ宜イノダ、斯ウ云フヤウナ御答辯デアッタヤウデアリマスルガ、是ハドウ考ヘテモ、サウ限ッタモノデハナカラウト思フ、帆船ヲ持タナイデ發動機ダケデ動イテ居ル相當大キナ船ガ随分アルドラウト思フ、是ハドウ云フ都合デサウナッテ居リマスカ、是ハ私ノ想像デアリマスルガ、此現在船舶ノ種類ガ、汽船ト帆船ト此二種類ニナッテ居ルカラ、サウ云フ立前デ、矢張り是ハ出來テ居ルノデヤナイカト云フヤウニ、御答辯ノコトヲ伺ヒマス見エルノデアリマス、ソレデ若シサウデアルトシマスナラバ、斯様な法案ヲ折角新タニ御出シニナルノデアリマスカラシテ、此船ノ種類ト云フモノニ付テモ、此帆船、汽船、發動機船ト云フ、斯ウ云フ工合ニ發動機船ト云フモノヲ新タニ設ケラレタナラバ、一番宜イノデヤナイカト思ヒマスガ、其ノ邊ノ點ノ御考ハ如何ナモノデゴザイマセウカ、ソレカラ尙ホソレニ關聯シテ伺ヒタイノデスガ、外國ノ例ニ依リマシテハ、其船ノ種類ノコトハドウ云フコトニナッテ居リマスカ、發動機船ト云フモノハ、矢張り認メテ居ナイノデアリマスルカ、參考ニ此外國ノ例ヲ伺ヒタイと思

ヒマス

○政府委員(淺野平二君) 御答ヘ致シマス、汽船、帆船ノ外ニ、發動機船ト云フモノガアルカラ、此名稱ヲ發動機船ト云フ新ラシイモノヲ、名稱ノ中ニ加ヘテハドウカト云フ御意見ノヤウデゴザイマスガ、御承知ノ通り此現在ノ船舶検査法以外ニ、船舶法ト云フモノガゴザイマスノデ、其關係法令ニ於キマシテ、船舶ノ種類ハ、汽船、帆船ノ別ヲ云フト云フコトニナッテ居リマスノデ、汽船ニアラザレバ帆船、斯ウナッテ居ルノデアリマス、發動機船ヲ「ステイマー」ト申スト云フコトハ如何ニモ字義ガ適當デナイヤウニ考ヘラレルノデゴザイマシテ、御説ノ通りデゴザイマスガ、現在ノ扱ヒ方ト致シマシテハ、汽船モ發動機船モ、大體同ジヤウニ取締ヲ致シテ行ケバ宜シイノデゴザイマシテ、船舶法關係ノ法理ニ於キマシテモ、機械力ヲ以テ運行スル裝置ヲ有スル船舶ハ、蒸氣ヲ用ヒルト否トニ拘ラズ、之ヲ汽船ト看做ス、斯ウ云フ規定ガゴザイマス、外國ノ例ニ於キマシテモ、大別致シマス場合ニ於キマシテハ汽船ト帆船トアリマシテ、汽船ノ中ニ發動機船ハ含ムト云フコトニナッテ居ルノデゴザイマス、確力安全條約ニ於キマシテモ「ス

テイマー」ト致シマシテ、其中ニ發動機

船ハ含メテ居ルノデアリマス
○子爵松平保男君 サウ致シマス云フト今ノ御説明デアリマス、發動機船ハ今ノ機械力ヲ以テ動ク船デアルト云フ條文ノ爲ニ、所謂此汽船ノ中ニ入レテモ差支ナイ、サウ云フ解釋デヤッテ居ル、斯ウ云フ結果ニナルノデアリマスカ、サウ致シマス此間舉ゲラレマシタ大體帆船ヲ持ッテ居ルカラ、兼有シテ居ルカラ、是ハ帆船ノ方デ何スルト云フコトハ當ラヌヤウニナリマスナ、サウシマス、意味ガ機械力ヲ以テヤルノダカラ、是ハ汽船ノ方ニ入レルノダ、斯ウ云フ解釋ノ方ガ正シイ解釋ノヤウデスナ
○政府委員(淺野平二君) 衆議院ニ於キマシテ御答ヘ申上ゲマシタノハ、小サナ現在検査ヲ受ケナイ船ニ於キマシテ御答ヘ申上ゲタノデアリマシテ、現在検査ヲ受ケマセヌ船ト申シマスルノハ、五噸カラ二十噸位ノ船デゴザイマス、漁船ガ大分多イノデゴザイマス、是等ノ船舶ハ發動機ヲ持ッテ居リマスルガ、同時ニ帆船ノ裝置ヲ持ッテ居リマスルノデ、何レニデモ運航スルコトガ出來ルノデゴザイマス、機械力ガイケナイ場合ニハ帆船ヲ以テ運航スルト云フコトヲヤッテ居ルノデゴザイマシテ、何レニモ見エ

モノゴザイマスカラ、現在デハ帆船トシテ扱ヒマシテ、検査ヲ適用シナイヤウナ關係ニナリ居リマス、尤モ是等ノ船デモ旅客ヲ運ビマス、或ハ曳船ヲ致シマスストカ云フヤウナ種類ノモノニ付キマシテハ、運航狀態ガドウシテモ定期的ニ行カナケレバナラヌモノデスカラ、大體ニ於キマシテハ之ヲ汽船トシテ扱ヒマシテ、検査ヲ執行イタシテ居ル次第ゴザイマス、大キナ百噸級ノ船デ發動機ヲ備ヘタモノモゴザイマス、客ヲ運ンデ居ルノモノゴザイマスルガ、是等ノモノハ大體ニ於キマシテ汽船「ステイマー」ト致シマシテ取締監督ヲ致シテ居ルヤウナ次第ゴザイマス

○政府委員(牧野良三君) 十三條ニ付テ

一條公爵ヨリ詳細ナ御質問ガアリマシタノデ、重ネテ此場合政府ノ意見ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマスノハ、過般特ニ深尾男爵ヨリモ此條文ニ對シテ大變御心配ニナリ、挿入イタシタコトニ付テ、モウ少シ慎重ニ考ヘテハドウカト云フコトモアリマシタノデ、當時ヨリ此條文ニ付テ特別ニ考慮イタシタノデアリマスガ、挿入イタシマシタ理由ハ、先程大臣カラ申述べラレマシタ通りニ、各國ノ立法例ニ依リマシタコトト、從ッテ其爲ニ此法案ヲ作りマスルノ基礎ヲ

ナシマシタ委員會ニ於テ其要求ガアリマシタコトト、而シテ第三ニハ時代ノ思潮ガ此處ニアル、進ンダ立法ヲ致シマスルニ付テハ已ムヲ得ナイ狀況デアル、此三ツデアリマスルガ、退イテ此條文ヲ除リマシタ場合ノコトヲ實ハ考ヘタノデアリマス、致シマスルト時代ガ斯様ニナリ居リマスル爲ニ、而シテ各國ノ立法例ガ既ニ總テ之ヲ認メテ居リマスルガ爲ニ、却ッテ一定ノ規矩ヲ逸脱シタヤウナ、却ッテ逸脱シタヤウナ言行ヲ船員ガ執リマシテ、其爲ニ却ッテ航行ニ支障ヲ來シ、却ッテ船員及船長ノ間ニ於ケル圓滿ヲ害スルヤウナコトガアッテハナラヌ、ソレデ寧ロ是ハ規定ヲ置キマシテ、サウシテ其規定ノ運用ヲ嚴重ニシテ弊害ノナイヤウニスルト云フコトガ豫メ雨フラザルニ關戸ヲ網羅スルト云フ注意深イ立法デハナイカ、ソレデアリマスルカラ十三條ハ十分是ハ注意イタサナケレバナラヌ、餘リ時代精神時代精神ト言ッテ新シガデモイカナイガ、併ナガラ是ガ無イト却ッテ船員ニ惡イ刺戟ヲ與ヘル基礎ニナリ、船員ガ此種ノ場合ニ於テ要求イタシマスル場合ニハ、十三條ニ依ラナケレバナラヌ、而シテ此十三條ヲドウスルカト云フト、特ニ命令ノ定ムル所ニ依リ云々トアリマシテ、命令ニ依ラナケレバ

ナラヌ、而シテ是カラモウ法律案ガ通過イタシマシタル後ニ於キマシテ、逡信省ガ制定イタシマスル命令ニ、特ニ十分ナ注意ヲ籠メマシテ、其點ニ遺憾ナキヲ期シタラバ、是コソ萬全ヲ期スルコトガ出來ルデアラウ、斯様ナ所カラ此十三條ヲ草案其儘維持イタシマシテ、議會ニ提出スルニ至タ所デアリマス、此場合補足イタシマシテ御了承ヲ請フ次第デアリマス

○男爵深尾隆太郎君 私モ此十三條ニ付テ

ハ色々考慮シ、又憂慮シテ居タ點ガアリマスノデ、此席ニ於テ御質問ヲ申上ゲヤウト思ッテ居リマシタガ、一條公爵カラ御質問ガアリ、ソレニ對シテ逡信大臣、逡信政務次官、管船局長カラ詳細ナ御答辯ガゴザイマシタノデ、私ガ杞憂ヲ致シテ居リマシタ所ガ、此實際ノ運用上ニ於テ、又逡信大臣ガ定メラレル命令ノ條項、此命令ノ條項ト實際ノ運用上トニ當局ニ於テ御注意ヲ頂キマシタナラバ、此條文カラ出テ居ル害ノ方ヲ防グコトガ出來ルデアラウト云フ考ヲ致シテ參リマシタノデ、害ガナケレバ此條文ハ最前逡信大臣ノ御話ニナリ通りデ、彌ガ上ニモ安全ヲ期スル、元來船長ト云フモノハ本船ノ安危ニ對シテ十分ノ責任ヲ持ッテ居ル筈デアルカラ、斯様ナ乘組員ガ十人

以上、船舶ノ安全デナイト云フコトヲ申立テテ検査ヲ仰グト云フヤウナコトハ、最前ノ一條公爵ノ言ハルル通り想像モ出來ナイノデアリマスケレドモ、實際ニ於テハ萬一ノ場合ヲ考慮セラレテ彌ガ上ニモ安全ヲ期セラルルト云フコトハ、サウ云フ御考モ亦決シテ間違ッテ居ラヌノデ、此惡用、濫用ニ對スル御注意ガ十分ニ當局ノ方デ行届イテ居ラレルナラバ結構ナコトニナルト思フノデアリマス、就キマシテチヨット此衛生設備ノコトニ付テ一應伺ヒタイノデアリマスガ、衛生設備ト云フコトハドウ云フヤウナ規定ヲナサル御計畫デアリマセウカ、概略御伺ヒシタイト思ヒマス

○政府委員(淺野平二君) 大體ニ於キマシ

テ現行法ト同様ニ……現行法ニ規定ガゴザイマスル規定ヲ本法施行ノ際ニ、十三條ノ命令デアリマスガ、此命令ノ内容ト致シタイト考ヘテ居リマス、現在ニ於キマシテ御承知ノ通り船員ノ乗用室ハ航行區域ニ應ジマシテ、ソレ々違ッテ居ルノデゴザイマシテ、遠洋航路ハ最モ設備ヲ要スルノデアリマスシ、近海、沿海ト下リマシテ段々簡ニナッテ參リマス、衛生設備ト申シマスルト現在關係法令ニ於キマシテ、格別目立タ規定ハ致シテ居ラヌノデゴザイマスルガ、例

ヘテ申シマスルト便所ノ裝置ダトカ、或ハ熱帶地方ニ參リマス防熱設備トカ、或ハ通風ノ關係ナンカハ是ハ衛生ニナリマスカ居住ニナリマスカ、大體現行ノ關係法令ニ於キマシテ、規定シテアリマスル通りノ程度ノモノヲ本法施行ノ際ニ規定イタシテ行キタイト云フ考デゴザイマス

○岡喜七郎君 私モ此十三條ノ規定ニ付キ

マシテハ、先程一條公爵ノ御述ベニナリマシタ御意見ノアル所ニ御同感ヲ致ス者デアリマス、成程社會ノ進運ニ伴ウテ勞働者ニ對シテモ相當ノ立法ヲシテ行クト云フコトモ、勿論考慮シナケレバナラスコトデアラウト考ヘマスルガ、今日マデ斯ノ如キ規定モ無シ、又船舶ニ居リマスル者ハ一層其關係モ親密ノモノデアラウト考ヘルノデアリマス、假ニ十人以上ガ命令ノ定ムル所ニ依ッテ申出ヲ致シマセヌデモ一人デモ危險ガアル、斯ウ云フコトデハ航海ノ安全ヲ期シ難イト云フヤウナコトヲ船長ニ申出マスレバ、船長モ喜ンデ聽クコトデアラウト考ヘマスルシ、尙ホ管海官廳モアリマシテ、常ニ檢査ヲ致シテ居ル、所謂濫用ガ起リ得ル場合ガアルト云フ想像ガ付クニモ拘ラズ、新ニ斯ノ如キ規定ハ設ケラレル必要ガナイノデハナイカ、成ル程彌ガ上ニモ船舶ノ安全ヲ期シタイト

云フ御趣旨ハ御尤モニ拜聽イタシマスケレドモ、我が國ノ國體ノ違ッテ居ル所ハ申上ゲマス迄モナイ、必シモ外國ノ立法ニ倣ハレナケレバナラスト云フコトモナイデハナイカ、又其外國ノ立法ナルモノモ、此御廻シニナッタモノヲ見ルト、色ニ例ヘバ人間ノ數ニ於テモ若干ノ相違モアル、極ク舞臺ノ狹イ所ニ始終一緒ニ居ル、何ト申シマスカ備フ者、備ハレル者、一層關係ノ親密ガ保タレテ居ルコトデアラウト思フ、先程一條公爵ノ御話ノヤウニ、軍艦ノヤウナ絶對ノ規律モ或ハ無イカモ知レマセヌガ、若シ一人デモ不安ヲ感ズルヤウナコトガアレバ喜ンデ船長モ之ニ聽クデアラウ、ドウモ私ハ濫用、濫用ノ虞ガアリ得ルトシテ殊更ニ命令ノ定ムル所ニ依ッテ十分ノ取締ヲスルト云フコトマデ盡サレテ、新ナル立法ヲ爲サル必要ハナイノデヤナイカ、斯ウ云フ實ハ考ヲ持ッテ居リマス、決シテ此立法ヲ非難スル譯デハアリマセヌガ、成ルベク一體立法ハ簡單ヲ貴ブノデハナイカ、彌ガ上ニモ色ニノ條項ヲ殖ヤシテ行ク必要ガナイノデヤナイカ、斯ウ云フ氣分ガ致スノデアリマス、甚ダ素人デ斯ウ云フコトハ分リマセヌノデ、御尋スルコトガ極メテ御笑ヲ受ケルカモ知レマセヌガ、一體此十三條ノ規

定ハドウ云フ時ニ實際ノ效力ガアルノデアリマセウカ、先程承ハリマスルト發航前ニ適用セヌトカ云フヤウナコトニ承ハリマシタガ、或ハ又管海官廳ノアル所デナケレバ適用ヲ致サナイト云フヤウナ御話モアッタヤウデゴザイマスガ、サウスルト例ヘバ航海中管海官廳ノ無イ所デアルト云フヤウナ時ニ、ドウ云フ實際上ノ效果ガ現ハレテ參ルノデアリマセウカ、甚ダ迂濶ナコトヲ御尋スルヤウデゴザイマスガ、蒙リ御啓キ下サレバ仕合デゴザイマス

○政府委員(牧野良三君) 岡サンノ御質問

ニ御答ヲ致シマス、十三條ノ只今御質問ノ點ハ深い注意ヲ致シマシタノデ、特ニ先程モ申上ゲマシタ通りニ、深尾男爵カラ此點ニ對シテハ特別ニ懇々ト注意ヲシテ、モウ一應注意シテ見ナイカト云フ御注意ガアリマシタノデアリマスガ、是ハ特ニ私ガ關係イタシタノデアリマスガ、實ハ御承知ノ通りニ近來海員ノ労働團體ガ大變ナ發達ヲ致シマシテ、從テ此方面ニ關スル人格、權利ノ尊重ト云フコトヲ形式的ニ十分守ルト云フコトニ對スル法制ヲ整ヘテヤルト云フコトガ、此方面ノ人々ノ生活ノ思想的方面ニ於ケル統一ヲ期シマス上ニ於テ、監督上大變必要ナコトニナッテ來テ居リマス、ソレ

デ斯ウ云フ立法ヲ致シマスル場合ニ、斯ウ云フ規定ヲ入レマスルコトガ、此方面ノ人々ノ大變感ジヲ好クスルノデアリマス、サウスルト同時ニ片方ニハ此種ノ規定ガゴザイマセヌト、時代ガ進ンダトカ、各國ニ此種ノ立法例ガ明瞭ニアルトカ云フコトノ爲ニ、正義ト條理ト云フヤウナコトヲ口實ニシマシテ、却ッテ特殊ナ場合ニ、實ハ言フヲ憚ルノデアリマスガ、船内ニ於ケル感情ノ衝突等ノアリマシタ場合ニ於テ、事ヲ構ヘテ却テ「ストライキ」其他ノ端ヲ啓ク場合モ多イ、デアリマスカラ寧ロ斯様ナ時代ニナリマシタ時ニハ、此種ノ規定ヲ置キマシテ海員ノ人格、權利、利益、生活ニ關スル十分ナル尊重ノ意ヲ明カニスルト同時ニ、片方ニ於キマシテハ理窟ニ拘泥シマシテ、各國ノ立法例ヲ楯ニ條理上當然デアルトカ、正義ノ要求デアルトカ言ッテ、無暗ナ埒ヲ逸脱シタ行爲ノ機會ヲ與ヘルコトノナイヤウニ、凡ソサウ云フコトニ對スル要求ヲシヤウトスルナラバ、先ヅ斯ウ云フ風ナ形ヲ整ヘナケレバナリマセヌゾ、又其形ヲ整ヘタ時ニハ斯ウ云フ命令ガアッテ、ソレニ依ラナケレバ許サレマセヌゾト云フ、斯ウ云フ規定ガ豫メ尊重ノ意ヲ明カニスルト同時ニ、實際ニ於テ濫用ノナイヤウニ、兩者萬全ノ策ヲ此際ニ於テ執リ

タイト云フ、斯ウ云フ所カラ此十三條ヲ維持スルニ至、タノデアリマス、此點御了承ヲ賜リタイト思ヒマス、又實際ノ適用デアリマスガ、是ハ寧ロ只今ノヤウニ船舶ハ極メテ一家族ノヤウニ、船長乗組員、船員全般ガ和親ノ團體ヲ成シテ居リマスルコトハ常例デアリマスガ、時代ノ進ミマスニ付キマシテ、此十三條ガ包含スルヤウナ方面ニ於テ、色々ノ要求ガ出テ參リマシテ、ソレガ發航ノ際ニ於テ具體化イタシマシテ不平ノ聲ガ現ハレテ來ル、ソレニ對シテ豫メノ用意ヲスル、サウ云フ場合ガ常例デゴザイマス、其點ニ關スル用意ヲ致シテ居ル譯デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○政府委員(淺野平二君) 補足イタシマシテ御答辯ヲ申上ゲタイト存ジマス、發航直前ニハ認メヌト先刻申シマシタガ、發航直前デナケレバ分ラナイモノガ中ニアルノデゴザイマシテ、例ヘバ貨物ヲ積ミ過ギマシテ港ヲ出帆スルヤウナ場合ハ、發航直前デナイト分ラナイデヤナイカと思ヒマス、サウ云フ場合ノ外ハ發航直前ハイケナイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、其他ノ事項ニ付キマシテハズツト前カラ分ッテ居ルヤウナ事實モアルノデアリマシテ、例ヘバ雨漏ガゴザイマスルトカ云フヤウナ點ニ付キマ

シテハ、發航直前ニハ之ヲ認メナイト云フ趣旨デゴザイマス、又管海官廳所在地ニミ臨檢ヲ致スト云フコトヲ申上ゲマシタノハ、サウ云フ事態ガ外國航行中ニモ起ル場合モゴザイマセウシ、又内地ニ於キマシテモ相當遠隔ナ土地ニ於キマシテ此事態ガ起ル場合モゴザイマセウト存ジマスルガ、外國ニ於キマシテハ御承知ノ通り何等之ヲ調ベル機關モナイノデゴザイマスルシ、内地ニ於キマシテモ管海官廳ニ於キマシテ之ヲ調ベルノデゴザイマスカラ、漸進的ニ此點ハ進ミマシテ、管海官廳所在地ケデ調査ヲ致ス、臨檢ヲ致ス、斯ウ云フコトニ行キタイト考ヘテ居リマス

○岡喜七郎君 チョット只今管船局長ノ只今ノ御話ニ依リマス、管海官廳ノアリマセヌ所デ此申立ガ假ニアリマシタトスルト、其儘デ管海官廳ノアル所マデ航行シテ來ナケレバ相成ラスト云フコトニナリマスカ

○政府委員(淺野平二君) 御意見ノ通りデアリマス

○岡喜七郎君 サウシマスルト、假ニ其申立ガ極メテ重大ナル事實デ、忽セニスルコトガ出來ナイト云フヤウナ危險ガ迫ッテ居リマスルト、便宜何處カ港ニデモ著イデド

ウカスルト云フヤウナコトハ臨時ニヤルノデスカ、管海官廳ノ臨檢ヲ待タナイデモ相當ノ措置ヲ執リ得ル方法ハアルノデゴザイマスカ

○政府委員(淺野平二君) 申立ハ管海官廳所在地デナクテモ認メルノデゴザイマスガ、其申立ノゴザイマシタ際ニ於キマシテ、船長ト致シマシテ相當ノ措置ヲ執ル場合モアルノダラウト思ヒマスルガ、サウ云フ場合ニ於キマシテモ其儘航行ヲ續ケマシテ、別ニ豫定以外ノ港ニ入ルト云フヤウナコトヲ強制イタスヤウナ考ハナイノデゴザイマシテ、豫定ノ航海ヲ續ケマシテ管海官廳所在地ニ入リマスレバ、其際臨檢ヲ致シテ實地調査ヲ致スト云フコトニ致シタイト考ヘテ居リマス

○男爵斯波忠三郎君 今ノ問題ニチョット關聯シテ、發航直前ト云フノハ是ハ命令デ御定メニナルト云フコトデスガ、發航直前ト云フノハドノ程度位デアルカ、御説明ガアッタカモ知レマセヌガ、私ハ外ノ委員會ニ參ッテ居リマシテ、發航直前ト云フノハドノ位ノ程度デ御定メニナリマスカ、例ヘバ今日正午ニ假ニ出帆スルト云フ船ガアルト致シマスレバ、其前ノ十一時ヤ十二時ニナッテ起ッタノハ、ソレハ取上ゲナイト云フノハ當

リ前デアリマセウガ、直前ト云フノハドノ位ノ所ニ程度ヲ御置キニナルノデアリマスカ、之ニ依ッテハ面倒ガ起リハシナイカと思ヒマスガ……

○政府委員(牧野良三君) サウデゴザイマスネ……

○政府委員(淺野平二君) 要スルニ事實問題デゴザイマシテ、問題ガ起リマスレバ其事實ガ果シテ發航直前カドウカト云フコトノ認定ヲ管海官廳ハ致スコトニナラウト思ヒマスガ、荷物ノ積込ミナリノ準備ヲ整ヘマシテ將ニ出帆スルト云フヤウナ場合ハ明瞭ニ發航直前デゴザイマスガ、或ハ時間ハ何時間前トカ、日ハ何日前ト云フヤウナコトハ明瞭ニ申上ゲルコトハチョット困難ダト思ヒマス

○男爵斯波忠三郎君 是ハ誠ニ困難ダラウト思ヒマスガ、例ヘバ定期航路ノ船ノ如キ、イツ何日ニ何處ソコノ港ニ入ッテ、イツ何日ニ何處ソコノ港ヘ向ッテ出ル、其間ヲ一日置クト云フヤウナ風ナ定期航路ヲヤッテ居ル、サウ云フタ場合ニ故意ニ船主ヲ窘メルト云フコトヲヤラウト思ヘバ、定期船ノ出帆時間ヲ狂ハセルト云フコトハ、是ハ「ストライキ」ヲヤルト同ジコトナンデスカラ、二日前トカ三日前デモサウ云フコトヲ

條件ニ、不安全ナ状態ニアルト云々、タヤウ
ナコトヲ言ヒ出サヌトモ限ラヌ譯デスナ、
「ストライキ」流ニヤレバ其點ニ於テ取締ガ
ムヅカシクハアリマセヌカ、其點ガ一番懸
念サレルノデアリマス

○政府委員(牧野真三君) 實ハ其點モ色ミ
ト議論シタノデゴザイマスガ、今ノ發航直
前ト云フコトヲソレ程深ク考ヘテ居ナクッ
テ御質問ガアッテ初メテ成程ト思フタノデス、
定期航路ノ場合ナンカノ、港ニ僅カ一日カ
二日シカ居ナイト云フヤウナ時ニハ、船長
ガ裁斷ヲシマスヨリ外仕様ガナイト此間話
シテ居、タノデアリマスガ、サウ致シマシテ
固ヨリ惡意ノモノト推定スル場合ニハ、船
長ノ裁斷ニ大キイカヲ與ヘル、サウデナイ
場合ニハ航海中ニ豫メ申出テ、サウシテ善
後措置ヲ適當ニ執ルト云フヤウナ場合ニ
ハ、善意ノモノニハ幾多ノ方法ガアラウト
思フカラ、其場合ニハ事實問題トシテハ解
決スルニソレ程困難デハナクハナイカ、相
當ナ注意ハシテ置カナケレバナラヌケレド
モト云フヤウナ程度デ、當局者トシテハ心
配ガナカラウヂヤナイカト云フ位ノ程度デ
ゴザイマス、左様御了承ヲ願ヒマス

○岡喜七郎君 此「命令ノ定ムル所ニ依リ」
ト云フ命令ノ何カ御草案デモ御出來ニナッ

テ居ルノデゴザイマセウカ、御差支ガナケ
レバ御示シテ願フコトハ出來マセヌデセウ
カ

○政府委員(淺野平二君) 命令ノ腹案トシ
テハ先刻申上ゲタコトガ主要ナ點デゴザイ
マス、發航直前デアレバ原則トシテ申立ハ
認メナイト云フコトト、船長ヲ經由シテ申
立セシムルコトト、管海官廳所在地ニ於テ
ノミ臨檢スルト云フコト、ソレ等ノ點ガ最
モ主要ナ點デゴザイマスガ、命令ハマダ立
案ハ致シテ居リマセヌ

○岡喜七郎君 サウシマスト申立ラヌル事
項ナドニ付テハ、別ニ御腹案ハナイノデス
カ、只船長ヲ經由シテ提出スルカ云フ其
提出方ノ扱ヒニ付テノ御腹案デ、事項ニ付
テ、例ヘバ斯ウ云フコトニ付テハ斯ウト云
フヤウナコト迄ハ御考ヘニナッテ居ラヌノ
デアリマスカ

○政府委員(淺野平二君) 申立ヲ許シマス
場合ニ付キマシテハ、十三條ニ船舶ノ堪航
性又ハ居住設備衛生設備其他ノ人命ノ安全
ニ關スル設備ニ付キマシテ重大ナル缺陷ガ
アル場合ト云フコトニナッテ居ルノデゴザ
イマシテ、先刻申上ゲマシタヤウナ風ニ、
是等ノ設備ニ付キマシテハソレノ關係法
令ニ於キマシテ詳細ナ技術的規格ナリ標準

ナリヲ決メル次第デゴザイマス、其規格ニ
合致イタサナイ、且ツ其缺陷ガ重大ナル場
合ニ限りマシテ之ヲ認ムルト云フ趣旨デゴ
ザイマス、其技術規定ナドノ詳細ニ付キマ
シテハ條約關係ニモゴザイマスルガ、マダ
立案ハ致シテ居ラナイ次第デゴザイマス

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) チョット私
ガ、先程質問應答ガアリマシタコトニ付キ
マシテ、チョット確カメテ置キタイノデゴザ
イマスガ、御許シテ願ヒタイ、先程松平サ
ンノ御質問ノ時分ニ航路、區域ト云フ御言
葉ガアリマシタガ、此船舶安全法ノ中ニハ
特ニ遠洋區域トカ近海區域トカ云フ字句ニ
ナッテ居リマシテ、外ノ規定ニ依リマスト航
路ト云フ字句ガ盛ニ使ハレテ居ルノデゴザイ
マスガ、是ハドウ云フ意味デ安全法案ノ方
ダケハ航路ヲ區域ト御變ヘニナッタノデゴ
ザイマスカ、之ヲチョット參考ノ爲ニ……

○政府委員(淺野平二君) 現行法ニ於キマ
シテハ、遠洋區域トカ近海區域トカ申スコト
ニナッテ居リマセヌノデ、今御話ノ通りニ遠
洋航路、近海航路ト云フ字句ニナッテ居ル
ノデゴザイマシテ、其意味ハ船舶ノ航行シ
得ベキ區域ヲ大體決メテ居ルノデゴザイマ
シテ、改正法ニ於キマシテモ其趣旨ハ全然
同一ナンデゴザイマス、唯區域ヲ意味シテ

居ルモノヲ航路ト云フ文字デ示シマスノガ
當ヲ得ナイノデヤナカラウカ、區域ナラバ
區域ト云フコトデ明瞭ニシテ置ク方宜シ
イデヤナカラウカト云フコトデ區域ト致シ
マシタノデアリマシテ、意味トシテハ同ジ
コトデゴザイマス

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) ソレカラモ
ウ一ツ先程ノ御話ノ中ニ委員長トシテ確メ
テ置キタイト思ヒマスガ、十三條ノコトニ
付テ色々御質問ガゴザイマシタガ、ドウモ
此船ノ中ノ爭議ガ起ル場合ト云フノハ、主
ニ船員ノ素質ニ關係スル問題ガ大キナ問題
デアッテ、英吉利ナンカニモ隨分斯ウ云フ規
則ガ必ズアルノデアリマスガ、其アッテ爲ニ
特ニ爭議ヲ起シタト云フ實害ガナクハナイ
カ、サウ云フ實例ニ付テ何カアレバ、詰リ
不服ノ申立ヲシ得ル規則ガ茲ニアル爲ニ特
ニドウトカ云フノデナクテ、却ッテ船員ノ素
質ニ關係スル問題デナイカト思ヒマスガ、
其邊ノ所ハ何カ實例ヲ御示シニナレバ……

○政府委員(淺野平二君) 其種ノ實例ハマ
ダ此處ニ其方面ノ關係ノ專門ノ者ガ參ッテ
居リマセヌガ、其方面ノ實例ノ調査シタモ
ノハ無イサウデゴザイマス、大變適切ナ御
質問ヲ頂イタノデアリマスカラ、十分ニ當
局トシテモ其種ノ實例ヲ調べ置キタイト

思ヒマス

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) ソレカラモ

ウ一ツ先程御話ノ中ニ衛生設備トカ、居住設備ニ付テ御話デアリマシタガ、其中ニ、

通風ノコトハ何方ニ屬スルカ分ラヌト云フ風ナ御話ガアリマシタガ、一體日本デハ衛生行政ノ行ハレルコトハ大抵内務省ニ於テ監督機關ガアリ、地方ニ行キマスト縣ノ警察部ガ衛生設備ノコトヲヤツテ居ルノデア

リマスカ、此處ニ仰セラレル衛生設備ト云フモノハ、ドウ云フ方面ノ監督ヲ受ケルノデアリマスカ、ドウ云フ方面ノ……チヨット

私考ヘ違ッテ居ルカモ知レマセヌガ、是ハ設計ノ時分ニヤルコトデアッテ、不斷デハナイ、設計ニ付テノ御監督ガアルノデアリマスカ、又實際此衛生行政ガ船ノ上デ行ハレル所ノ意味ヲ現ハシテアルノデアリマスカ、

チヨット參考ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(淺野平二君) 大體ニ於キマシテ船ノ構造設備ニ關スルコトガ多イダラウト思ヒマス、現在ニ於キマシテハ設備ノ點

ニ關係スルコトガ多イダラウト思ヒマス、但シ將來ニ於キマシテハ、或ハ船員法トノ關係ニ於テ、船員ノ食料問題ト云フヤウナ

モノヲ法定スル場合モアリ得ルノデアリマシテ、是等ノ場合ニ於キマシテハ、此條項

ニ該當イタスコトナルト思ヒマスルガ、現在ノ所デハマダ食料問題ナンカハ法規ニ規定イタシテ居リマセヌノデ、設備ダケガ問題ニナッテ居リマス

○子爵西尾忠方君 此小船船ト申シマスカ、六七噸ノ船舶ニ於テノ居住衛生等ノ設備、ソレ等ハドウ云フヤウニ御扱ヒニナルノデアリマスカ、其點ヲ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(淺野平二君) 小サナ船舶ニ付キマシテハ、現行法ニ於キマシテモ、居住設備ナリ、衛生設備ナンカニ付キマシテ細カイ規定ガゴザイマセヌノデ、改正法ニ於キマシテモ命令ヲ制定スル場合ニ於キマシテハ、大體現行法ニ則ッテ行キタイト考ヘテ居リマス

○子爵西尾忠方君 サウシマスト、船ヲ建造シテ検査デモ受ケマシタ時ノ原狀ニ變リガナケレバ、特ニ後ニナッテカラソレ等ニ付テ不服ヲ申立テルコトハ出來ナイト云フコトデアリマスカ

○政府委員(淺野平二君) 御意見ノ通りデゴザイマシテ、検査ノ際ニ合格イタシテ居リマスレバ、其設備ガ重大ナル缺陷ヲ生ジタト云フ場合ハ兎ニ角デアリマスカ、検査ノ原狀ヲ維持シテ參リマスカラバ、不服ノ申立ハ出來ナイト云フコトニナリマス

○公爵一條實孝君 モウ一ツ伺ッテ見タイノデスガ、十三條ノ規定ヲ設ケラルル上ニハ、餘程ノ根據ガアッタと思フノデアリマスカ、實例ヲ一ツ伺ッテ見タイノデスガ、先程大臣カラ十二分ノ安全ヲ圖ル爲ダト云フ御言葉ガアリマシタノデスガ、今日マデノ、例ヘバ船長ノ獨斷專行ト云ヒマスカ、無茶苦茶ナコトヲヤツタ爲ニ出來損ナタト云フヤウナヤリ方ノ……一重要ナ點ハ船舶ノ耐航性ト申シマスカ、所謂人命ノ安全ニ關スル重大缺陷、斯ウ云フ問題ガ斯ウ云フモノヲ生シタニ違ヒナイト思ヒマス、何カ數字カ何カ遭難ノ狀態或ハ遭難ノ原因ガ何處ニアツカト云フヤウナコトガ御示シニナラマスレバ大變私ノ參考ニナルト思ヒマス

○說明員(重光葵君) 一條公爵カラノ御尋ノ實例如何ノ問題デアリマスカ、數字的ニ統計ヲ列ベテハ用意イタシテ居リマセヌガ、間ミ起リマスコトハ例ノ船舶ノ過載デアリマス、是ガ一番多イ實例デゴザイマス、一兩年前デゴザイマシタカ、將ニ發航セムトスル場合ニ立至リマシテ、餘リニ吃水ガ這入り過ギテ居ッテ、殆ド乾舷ガナイト言ッテモ宜イ位ノ程度ニ荷物ヲ積ンデ居ッタ爲ニ、乗組員ガ恐レヲ爲シマシテ、是デ

ハ自分等ハ乗ッテ行ケナイト云フノデ、當時管海官廳ニ駈込シタコトガアルノデアリマス、是ハ一ツノ例デアリマシテ、斯様ナコトハ時々起ルト云ッテハ言ヒ過ギルカモ知レナイガ、タマノアルノデアリマス、又此居住デ、部屋ノ關係ニ於キマシテモ、是ハサウ駈込ミト云フ譯ニハ參リマセヌガ、船デ爭ヲ起スト云フヤウナコトハ、稀ニハアルノデアリマス、其點ハ御了承ヲ願ヒマス

○公爵一條實孝君 私モ多少ノ實例ハ知ッテ居リマスカ、是ダケノ條項ヲ色ミト反對ノアルコトヲ豫期サレマシテ御加ヘニナッタニ付テハ、斯ウ云フ狀態デ、謂ハバ船主側、船長側ガ無茶苦茶ナコトヲヤルト云フヤウナコトカラ、必ズ船員ノ方ニ不安ヲ與ヘタノダラウ、ソレヲ官廳ノ方デ御認メニナッタ、ソレニハ相當ナ數字ガ今日デナクデモ結構デアリマス、又此次ノ委員會ノ時デモ戴ケマスルナラバ一ツ戴キタイ、斯様ニ御願ヲ申上ゲテ置キマス

○政府委員(牧野良三君) 只今ノ一條公爵カラノ御要求ニ對シマシテハ、十分取調ベルコトニ致シマスカ、實ハ頻繁ナル具體的ノ實例ニ依ルト言ヒマスヨリモ、寧ロ思想上ノ方面ガ大キイノデアリマシテ、謂ハバ

ハ自分等ハ乗ッテ行ケナイト云フノデ、當時管海官廳ニ駈込シタコトガアルノデアリマス、是ハ一ツノ例デアリマシテ、斯様ナコトハ時々起ルト云ッテハ言ヒ過ギルカモ知レナイガ、タマノアルノデアリマス、又此居住デ、部屋ノ關係ニ於キマシテモ、是ハサウ駈込ミト云フ譯ニハ參リマセヌガ、船デ爭ヲ起スト云フヤウナコトハ、稀ニハアルノデアリマス、其點ハ御了承ヲ願ヒマス

此條項ガ勞資協調ノ大事ナ條文ダト云フコトカラ、研究ノ結論ガサウ云フコトニナリマシタ、サウシテ矢張り存置シタ方ガ勞資協調上ノ利益ヲ保持スルノニ大變宜イダラウト云フ思想上ノ方面ガ主ニナリマシテ、殊ニ海員ノ勞働團體ノ方ガ多イノデアアルカラ、弊害ナイモノハサウ云フ方面ノ人々ノ意見ヲ尊重シテ、サウシテ遺憾ナキヲ期シテ行、タラ宜イト云フ所ニ……御前達餘リ新シガッテハイカヌゾト云フ御注意ヲ受ケナケレバナラヌ點ガアルト同時ニ、ソレニ對シテ十分注意イタシナガラ、徐々トシテ勞資協調ノ實ヲ舉ゲテ行キタイト、斯ウ云フ譯ナンデアリマス、左様御含ミ願ヒマス

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 今日ハ此程度デ質問ヲ止メマシテ、更ニ彙報デ此次ノ委員會ヲ申上ゲルコトニ致シマス、明日ハ日曜デアリマスカラ、多分月曜日アタリニナルダラウト思ヒマス、其邊ハドウゾ委員長ニ御任セテ願ヒマス

午前十一時四十三分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵川村鐵太郎君
副委員長 男爵深尾隆太郎君
委員

公爵一條 實孝君

子爵今城 定政君

子爵松平 保男君

子爵西尾 忠方君

男爵斯波忠三郎君

男爵東久世秀雄君

岡 喜七郎君

坂野鉄次郎君

堀 啓次郎君

國務大臣

遞信大臣 南 弘君

政府委員

遞信政務次官 牧野 良三君

遞信參與官 子爵立花 種忠君

遞信省管船局長 淺野 平二君

説明員

遞信技師 重光 藤君

昭和八年三月四日印刷

昭和八年三月五日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局